



より高度で安心できる 医療の提供のために

市立貝塚病院

院長 今本 治彦



当院は、昭和14年9月に町立貝塚病院として開設され、本年で創立80周年を迎えます。長きにわたり市民病院として、「高度・先進医療」「がん医療」「地域医療」を三本柱に地域の中核病院として、機能の充実を図つてまいりました。

診療科の拡充や、乳がん高度検診・治療センターをはじめ、婦人科腫瘍センター、消化器・肝臓センターなどの各専門センターを開設し、高度な専門医療、特にがんの早期発見、診断から治療、緩和医療まで一貫したトータルながん診療を行っています。

昨年10月には、身体への負担が少ない内視鏡外科手術をより安全に実施するため、低侵襲外科手術センターを開設しました。

低侵襲外科手術センター開設

高い技術を要求される内視鏡外科手術をより安全に実施できるよう、診療科や職種を

越えたスタッフの連携と体制で取り組んでいます。多くの医療機器を使用し、スタッフで情報を共有して多くの視点で捉えることで、より安全に、そして、各科が課題を明確にして研鑽することで、より高い技術で手術を行

うことを目指しています。「平成」から「令和」と新しい時代を迎え、今後も「地域住民を守る良質な医療の提供」を病院理念に、皆様が健やかで、心穏やかに過ごされるよう、地域の医療機関の先生方ど

協力して、地域の方々に寄り添った、良質な医療の提供をさせていただきたいと思います。

問 TEL 072-422-5865 市立貝塚病院
(貝塚市堀3-10-20)
<http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>